

## 株式会社ファスマックが定性リアルタイム PCR くるみ検出用プライマー&プローブセットを販売開始

ニッポングループの株式会社ファスマック(代表取締役社長:布藤 聡 本社:神奈川県厚木市)は、ハウス食品グループ本社株式会社(代表取締役社長:浦上博史 本社:大阪府東大阪市)から技術のライセンスを受け、新たに「定性リアルタイム PCR くるみ検出用 プライマー&プローブセット」の製造販売を開始いたしました。

本商品は、新たに特定原材料に指定された「くるみ」を定性リアルタイム PCR で検出するためのプライマー&プローブセットです。

近年、木の実類に対する即時型食物アレルギーの症例数が増加しており、消費者庁の調査では、原因食物の割合が鶏卵、牛乳に次ぐ第3位となりました。中でも「くるみ」に関する報告が増加しています。(令和3年度即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査)



商品画像

この状況を受け、2023年3月9日(木)にくるみが特定原材料として指定されました。今後、加工食品にくるみが含まれる場合、表示が義務付けられます。

商品名	内容量	価格(税別)
定性リアルタイム PCR くるみ検出用 プライマー&プローブセット	50 反応分	25,000 円
	250 反応分	105,000 円
定性リアルタイム PCR 小麦、そば、落花生、くるみ検出用 プラスミドセット	各 20 反応分	43,000 円

### <株式会社ファスマックについて>

株式会社ファスマックは2001年に設立され、オリゴヌクレオチド合成サービス、遺伝子合成サービス、DNA シーケンシングサービス、食品検査サービス、遺伝子検査薬・キットを含む、食品検査やバイオテクノロジー商品・サービスを提供しています。

※2 ページ目に続きます。

<本件に関する問い合わせ先>

<契約や技術に関すること>

株式会社ファスマック 遺伝子検査事業部  
〒243-0041 神奈川県厚木市緑ヶ丘 5-1-3  
TEL : 046-295-8787 FAX : 046-294-3738

<その他・報道に関すること>

株式会社ニッポン 広報部  
担当 : 岡部春那  
〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目 8 番地  
TEL : 03-3511-5307 FAX : 03-3237-3546

## (ご参考)

### ＜「プライマー&プローブセット」シリーズについて＞

「プライマー&プローブセット」シリーズは、2020年12月から製造販売を開始した小麦、そば、落花生を検出するためのプライマー&プローブセットで、今回くるみがラインアップに加わりました。偽陽性リスクを低減させた定性リアルタイムPCR法で、様々なモデル食品から10ppm全タンパク質(wt/wt)相当のアレルゲンを検出できることが確認されています。

この検出方法は、消費者庁次長通知「食品表示基準について」(消食表第139号、最終改定 令和5年3月9日消食表第102号)、「別添 アレルゲンを含む食品の検査法」に準拠しています。

### ■商品情報

商品名	内容量	価格(税別)
＜新商品＞ 定性リアルタイムPCR くるみ検出用 プライマー&プローブセット	50 反応分	25,000 円
	250 反応分	105,000 円
＜新商品＞ 定性リアルタイムPCR 小麦、そば、落花生、くるみ検出用 プラスミドセット	各 20 反応分	43,000 円
定性リアルタイムPCR 小麦検出用 プライマー&プローブセット	50 反応分	25,000 円
	250 反応分	105,000 円
定性リアルタイムPCR そば検出用 プライマー&プローブセット	50 反応分	25,000 円
	250 反応分	105,000 円
定性リアルタイムPCR 落花生検出用 プライマー&プローブセット	50 反応分	25,000 円
	250 反応分	105,000 円

### ■商品特長

- 10ppm全タンパク質(wt/wt)相当のアレルゲンを添加した、様々なモデル食品で検出することを確認しています。
  - ELISA スクリーニング検査で陽性となった結果の真偽を確認することに役立ちます。
  - 基準プラスミドを用いたカットオフ値により、本商品を取り扱う環境由来の偽陽性リスクを低減しています。
  - PCR 後はパソコン上で陽性/陰性を判定できるため、電気泳動操作が不要です。※1
- ※1 別途行う植物又は動物 DNA 検出 PCR 法は、電気泳動操作が必要です。

※本商品にはリアルタイムPCRに必要な酵素やバッファー類は含まれておりません。  
株式会社ファスマックは、本商品を使用した食物アレルゲン検査を実施しています。  
リアルタイムPCR装置等の機材をお持ちでない場合は、こちらのサービスをご利用ください。

## <検査フロー>

### ● Step1 : DNA抽出

食品検体からDNAを抽出します。

※本商品にDNA抽出用試薬は付属していません

### ● Step2 : 反応液調製

取扱説明書に沿って反応液を調製します。

96wellプレート等に反応液を適量分注し、高濃度プラスミド、基準プラスミド、DNA試料液を添加します。

### ● Step3 : リアルタイムPCR

96wellプレートをリアルタイムPCR装置にセットし、下記反応条件で測定を行います。

リアルタイムPCR装置の指定はありませんが、操作の詳細は、各装置の取扱説明書をご参照ください。

	温度	時間	サイクル数
変性	95 °C	15分	1
アニーリング・伸長反応	95 °C	30秒	42または38※
	68 °C	1分	

※ Thermo Fisher Scientific社製のリアルタイムPCR装置を使用している場合は、サイクル数を38に設定してください。

### ● Step4 : 結果解析

各試料および基準プラスミド溶液のCq値を算出します。

基準プラスミド溶液のCq値以上の場合は陰性、Cq値より小さい場合は陽性と判定します。